

とき

vol.31

ソフトボールで 全国大会へ！

志佐少年ソフトクラブ



志佐少年ソフトクラブが、6月7日～8日に佐世保市で開催された「第22回全日本小学生ソフトボール長崎県大会」で3位に入賞し、全国大会への出場が決定しました。

同大会には、県内から18チームが参加。同クラブが3位に入賞したため県代表に推薦され、8月8日から11日にかけて滋賀県で開催される全国大会（全日本ソフトボール連盟主催）に出場することとなったものです。

同クラブは、小学2年生から6年生の15人の児童で構成され、太田雄三監督とコーチの別府哲也さん、武尾和彦さんの指導を受けています。練習は毎週6回午後4時30分から午後7時ごろまで、志佐小グラウンドで行っており、今は全国大会に向けて汗を流しています。

志佐小6年の太田雄三大将は「監督・コーチの指導をしっかりと聞いて、皆で一生懸命練習をして強くなりたいです。また、市や県の大会では常に上位を目指します。僕たちのチームはよく元気が足りないと言われるので、全国大会では、元気を出して、チーム一丸となって1勝を目指して精一杯頑張ります」と話し、太田雄三監督は、「今のチームは、バッテリーを中心に勝負強さを持っていて、ミラクル的なパワーを発揮できるチームです。監督の指導方針としては、子どもたちに平等よりも競争心を身につけさせたいと考えています。また、松浦市のチームは他市では評価が低かったなので、悔しさを含めて子どもたちがプレッシャーに強くなるように指導してきました。子どもたちには、ソフトボールに限らず、小学校で終わりはなく、中学・高校になっても常に上を目指すように意識を高めていきたいです。チームがさらに盛り上がるように、もっと部員が入部してほしいですね」と話していました。